

# すっかんぽ

★研究室だより No.5 1992年 9月号

## アミメモドキ 現われる!

全ては、一枚のメモから始まった。9月1日の朝、研究室の机の上に、指導教官の中村和夫先生(宇都宮大学教育学部大学院 生物科 教授)のメモがのっていた。

『神奈川県環境科学センターの石綿氏より tell あり、茨城県下館工事事務所の長塚さんからの情報によると、10日ほど前から鬼怒川でアミメカゲロウが大発生しているらしい、……』

アミメカゲロウは、全国数ヶ所の河川で9月上旬～中旬の夕暮れ時に大発生することが知られているが、10日ほど前、といったら、お盆が終わったころである。これは、いくらなんでも時期的に早すぎる。

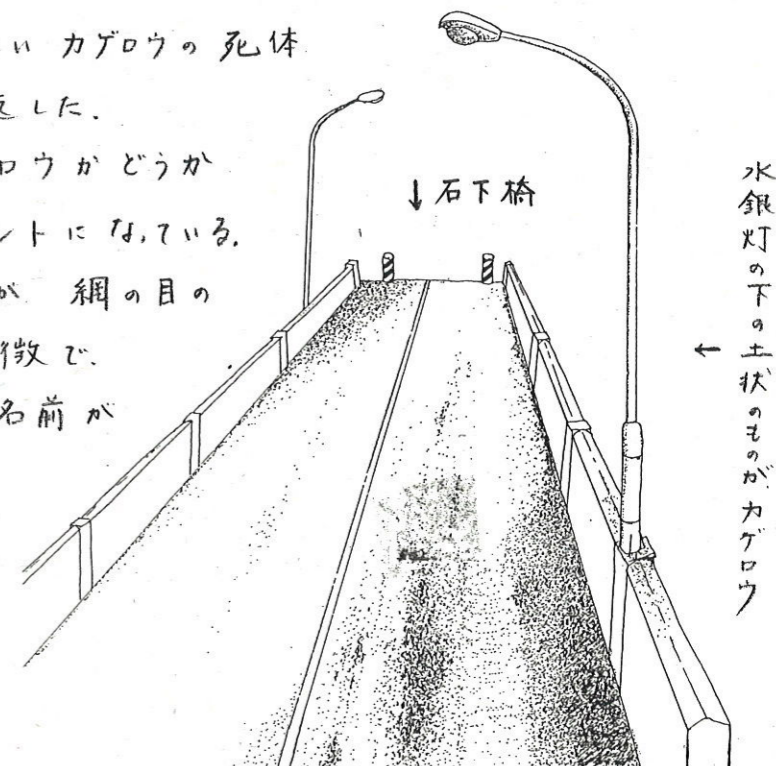
「長塚さんは別のカゲロウとみまちがえているのでは…」念のため、長塚さんに連絡をとり、聞いてみると、朝方飛んでいるという話だ。これでますます別のカゲロウの可能性がでてきたが、せっかく電話してくれた神奈川県石綿さんの手前、一応現地に行き、確認だけはしておこうということになり、その日の午後、下館工事事務所へ行くことになった。

下館工事事務所は、茨城県石下町という所にある。町の中を流れる鬼怒川にかかる石下橋と石下大橋で、カゲロウが、少くとも5、6年前から、毎年大発生している、と長塚さんは話してくれた。この時点では、半信半疑であった。仮にアミメカゲロウかとしているとしても、そう大した量ではないだろうとたかをくくっていた。しかし、実際に石下橋に行ってみると、橋を照らす水銀灯の回りに、赤土みたいなものが10cmくらい厚まで積っている。「何だ、この土は、…」一瞬考えこんでしまったが、次の瞬間、この石下橋では、今までの常識も覆す、とんでもないことが起きているのでは、という興奮に襲われていた。よく見ると、土だと思っていたのは、カゲロウが車につぶされ乾燥し、粉状に変化したもので、まだ、つぶされていないカゲロウも、多量に残っていた。しかも、一ヶ所だけではなく、全ての水銀灯の下には、カゲロウの土が同心円状に広がっている。もし、本物のアミメカゲロウだとしたら、全国各地のアミメカゲロウ研究者にとっても大事件である。



なるべく、形がくずれていないカゲロウの死体を集め、研究室へ引き返した。

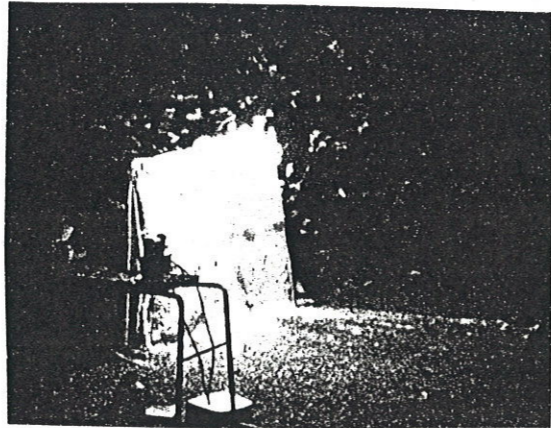
ところで、アミメカゲロウがどうかは、翅脈が1つのポイントになっている。大ざっぱにいうと、翅脈が網の目のようになっているのが特徴で、そこから、アミメカゲロウの名前がきているのだ。調べてみると、まさに、アミメカゲロウ科の特徴も示していた。





9月9日夜 6時30分、宇大式ライトトラップ1号のセッティング完了。  
 6時50分に最初のアミカゲロウ現われたが、8時までで合計4匹のメスしか集まらなかった。この日は、夜型のアミカゲロウライトトラップを使ってもだめなようだった。ちよとがかりだが、次は、朝型のアミカの採集である。そのまま、車の中で夜を明かし、再び翌朝の3時10分、水銀灯に灯をともした。空は、だんだん雲に厚くおおわれ、霧もかかてきた。カゲロウの飛びコンディションとしては、あまりよくなさそうである。たぶん、だめだろうなと思いつつ待っていると、3時30分に最初の3匹がやってきた。全てオスである。そして3時40分から50分には、オスだけ2匹、次の10分間にはオスが108匹、メスが2匹現われた。次から次へと川からカゲロウがわき上ってくる。オスが出そうと、後はメスばかり集まり、4時40分ころピークをむかえた。水銀灯の周りにはすでに数千匹はいるだろうが、カゲロウの羽音は重なり合ひ、グーンと低い音に変わってきた。たまたま、白いシャツを着ていた私は、どういふわけかカゲロウに好かれて、ポケットの中や、髪の中や首の中へ、どんどん入ってくる。取ろうとすると、中で卵を産み、体じゅう黄色い卵だらけとなってしまう。これでは、カゲロウ男である。人に見られなくてよかったと心から思った。(終)

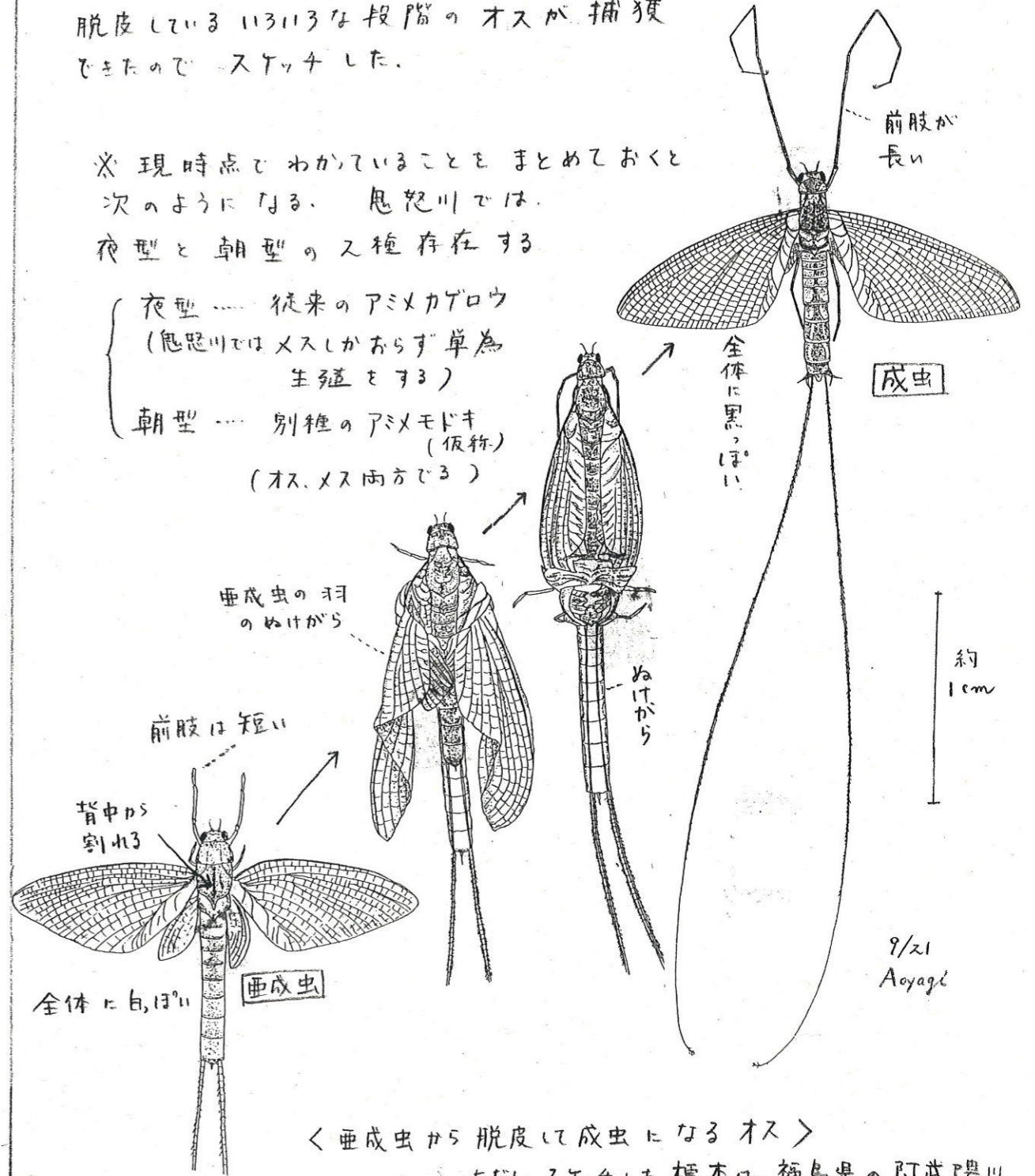
宇大式ライトトラップ1号  
 にあつまるアミモドキ



P.S. メスは、幼虫からう化した亜成虫のまま、産卵するこ  
 とができるが、オスは、もう1度脱皮して、亜成虫から成虫になる。  
 脱皮しているいろいろな段階のオスが捕獲  
 できたので、スケッチした。

※現時点でわかっていることをまとめておくと  
 次のようになる。鬼怒川では、  
 夜型と朝型の2種存在する

- 夜型 --- 従来のアミカゲロウ  
 (鬼怒川ではメスしかおらず単為  
 生殖をする)
- 朝型 --- 別種のアミモドキ  
 (仮称)  
 (オス、メス両方できる)



< 亜成虫から脱皮して成虫になるオス >

上記にスケッチした標本は、福島県の阿武隈川  
 産のアミカゲロウを使用。